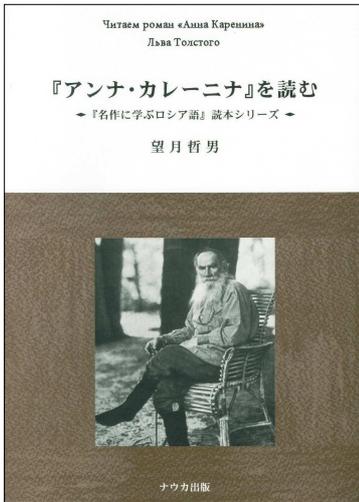


望月哲男著『『アンナ・カレニナ』を読む』



Читаем роман «Анна Каренина» Льва Толстого
 (『名作に学ぶロシア語』読本シリーズ) [2012/12]

B5 判並製 92 頁 ISBN978-4-904059-09-8

朗読 CD1 枚つき 価格 2,400 円 (本体)

テキスト朗読: ナターリヤ・イワノワ

ロシアが生んだ偉大なる作家・思想家トルストイの名作長編小説『アンナ・カレニナ』より、古典新訳の訳者が 20 の名場面を厳選。各シーンは、原文、和訳、語彙・文法解説、さらには読みごたえのある詳しいテキスト解説で構成。単なる語学学習書・教材の枠を超え、大作の全体像にせまる、まことに味わい深い読解本ついに発売。

著者まえがき (トルストイと『アンナ・カレニナ』) より

「〈…〉そうした複合的な世界を描く作者の姿勢にも、叙事詩と悲劇、あるいは大河ドラマと心理小説を包含するような複合性があり、快樂主義者も生真面目な煩悶家も、ダンディも保守的官僚も、すべて全体の中に生き生きと場所を得ています。〈…〉本書はそのような複合的なテキストから、20 の断片を選んで読んでみようという企画です。〈…〉テキスト解説の内容は、各部分が作品の中に占める位置に関する背景情報に加え、主として表現の特徴に焦点を絞りました。視点設定、比喻をはじめとする修辞の特徴、テーマの提示の仕方、メッセージと表現法の呼応、部分と全体の関係といった、小説作法に関することです。これは一見些末にも見えますが、じつはそのような表現の様式こそが読者に向けた作者の姿勢を反映し、ひいては彼の世界観の特徴を明示していると思われまふ。〈…〉」

テキスト解説の見出しから:「浮気な夫と傷ついた妻」「宿命という名の汽車」「アンナの魔性?」「ダンスのリズムと文章のリズム」「トルストイと有島武郎」「比喻の劇場」「競馬での失敗」「酒場の人生論の論理」「小虫を採る弁護士」「ロシア式離婚法」「真ん中にある夜会」「不幸における均衡」「うろたえる男、気丈な女」「実物と芸術: 絵の中のアンナ」「終わりの後の物語」「星空と思索」… 充実したテキスト解説を読みながら、そして朗読 CD を聴きながら、『アンナ・カレニナ』の世界を原文でご存分に味読ください。(編集部より)

著者紹介

望月哲男 専門はロシア文学、近代ロシア文化。1975年東京大学文学部露語露文科卒業。1982年10月東京大学大学院博士課程退学。1982年11月東京大学文学部助手。1986年4月北海道大学スラブ研究センター助教授。現在同教授。著書に『ドストエフスキー・カフェ』(東洋書店, 2005)ほか多数。訳書にトルストイ『イワン・イリイチの死/クロイツェル・ソナタ』(光文社古典新訳文庫, 2006)、トルストイ『アンナ・カレニナ』(光文社古典新訳文庫, 2008)、ドストエフスキー『白痴』(河出文庫, 2010)、ソローキン『青い脂』(河出書房新社, 2012)ほか多数。

ご注文は生協・書店またはナウカ出版へ

〒354-0024 埼玉県富士見市鶴瀬東 2-18-32, 2-108

email : kniga@naukapub.jp URL: <http://www.naukapub.jp> Tel & Fax: 049-293-5565

注文書 貴店名 (取次様番線・書店様コード)	望月哲男著 『アンナ・カレニナ』を読む (CD1 枚つき) ISBN 978-4-904059-09-8	¥2,400 (本体価格)	冊	在庫
ご担当 () 様	井上幸義著 ゴーゴリ『鼻』全文読解(CD1 枚つき) ISBN 978-4-904059-07-4	¥2,800 (本体価格)	冊	在庫